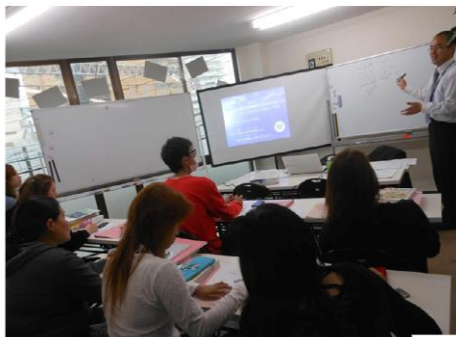


暑い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。今年も会員である貴方様をはじめ、皆様のご協力のおかげをもちまして、訪問介護員2級研修を無事に終了することができました。この回をもって訪問介護員2級講座は制度改正のため終了しますが、今後は初任者研修として多文化共生に資する介護員の育成をしていきたいと準備を進めておりますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

さて、この夏は、ブラジル、フィリピン、ペルー出身の外国人7名が3ヵ月の研修を経て、見事に資格を取得しました。製造業からの転職や長年の目標であった介護職への就職にむけて、受講者は家事や子育て、日ごろの仕事と両立させながら、介護に関する知識や技術の習得に励みました。特に専門用語を使った日本語での記録と報告ができるようになるために、毎回課された講義レポートに四苦八苦していましたが、なんとか日本語の壁を乗り越えることができました。今回のニュースでは、そんな彼らの様子をお伝えします。

● H25年度訪問介護員2級養成研修講座、無事終了！

4月28日(土)のオリエンテーションから7月27日(土)までの3ヵ月間は、外国人の受講者にとって、とても長く険しい道りでした。しかし、7名の受講者の皆さんは「夢」を叶えるために一生懸命頑張りました。天竜厚生会、和合愛光園、温故療院、豊田一空園の皆様、ご指導ありがとうございました。



介護は、その人らしく生きることができるように「人が生きるお手伝いをする」ことです。そのため、いつも利用者さんのことを考える介護を学びました。難し



い日本語は、安形さんや山田さんがやさしく教えてくれました。日本語を書くのは一苦労でした。実技は、講師の先生方が「やさしい日本語」で丁寧に教えてくださり、実践も豊



富に練習したので、わかりやすく充実していました。レクリエーションでは「即戦力



になる」と、持前の明るさをほめていただきました。実習では、「利用者さんへの声掛けがよく、わからないことはすぐにメモをするなど、まじめで



素晴らしい実習生さんです」と、高い評価をいただきました。これからは、いよいよ就職活動です。未来のワーカーさんに、どうか皆様、温かな応援をお願いいたします。

